

平成 18 年 5 月 31 日（水曜日）
愛知県産業労働部地域産業課技術振興
調整グループ
担当 来住南(きすな)、都筑
電話 052-954-6340
愛知県産業技術研究所 企画連携部
担当 山崎、石川
電話 0566-24-1841

新しい産学行政共同研究が 6 件スタートします！

愛知県産業技術研究所は、地域経済の活性化のために、産学行政連携体制のもと、研究開発を行い、地域中小企業への技術移転を推進しています。

そうした中、経済産業省所管の産学官共同研究事業である「[平成 18 年度 地域新生コンソーシアム研究開発事業](#)」に提案し、以下の 6 件が採択されました。

《採択テーマ》

- (1) 吸引式切り屑完全回収型次世代切削加工システムの開発【[詳細](#)】
製品や機械テーブル上に切り屑の散乱することがない切削加工システムの開発
- (2) 無機・有機ナノ複合体による耐衝撃性ハードコートの開発【[詳細](#)】
ナノテクノロジーを活用し硬さと柔らかさを両立させたレンズ等コート材の開発
- (3) 住宅エクステリア用不焼成 100%リサイクル保水不燃建材の開発【[詳細](#)】
100%リサイクル原料の不焼成製造法による住宅用軽量保水セラミック建材の開発
- (4) 粘土瓦再生循環システムの構築【[詳細](#)】
廃瓦利用による再生製造技術の開発、及び廃瓦回収システムの構築
- (5) 機能性セラミックスを利用した液状食品の新規製造システムの開発【[詳細](#)】
液状食品の熱処理による品質低下等を改善する新規製造システムの開発
- (6) 安全快適空間創成のための次世代型クリーンナノ触媒の実用化開発【[詳細](#)】
脱臭や抗菌作用を有するナノ材料の製造技術開発及び商品加工技術の開発

今後も、これら産学行政連携の共同研究を推進することにより、地域経済の活性化を図っていきます。

【平成 18 年度 地域新生コンソーシアム研究開発事業の概要】

地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、中小企業等を中心とする地域における産学官の強固な共同研究体制（地域コンソーシアム）を組むことにより、実用化に向けた高度な研究開発を実施する経済産業省の事業です。

(契約形態) 委託契約
(研究開発期間) 2年以内
(応募件数) 全国573件
(採択件数) 全国152件
(予算額) 全国138.1億円

<採択テーマの詳細内容>

【テーマ1】吸引式切り屑完全回収型次世代切削加工システムの開発

【概要】製品や機械テーブル上に切り屑の散乱することがない、環境にやさしくクリーンなもののづくり環境を実現するため、切削による切り屑を加工直後に工具内部へ吸引し、工具ホルダー、主軸を通り工作機外に排出することのできる次世代切削加工システムを開発する。

【所属名】[工業技術部](#)

【管理法人】財団法人科学技術交流財団

【共同開発者】名古屋工業大学、オークマ株式会社、オーエスジー株式会社、エヌティーツール株式会社、大同メタル工業株式会社、株式会社デンソー、株式会社東海理化、有限会社丹羽環境・設計技術士事務所

【テーマ2】無機・有機ナノ複合体による耐衝撃性ハードコートの開発

【概要】分子レベルで化学反応を制御するナノテクノロジーにより、無機物質と有機物質とを緻密な材料設計の元で複合化することで、従来技術では実現できなかった硬さと柔らかさを同時に高レベルで両立させた耐衝撃性ハードコートを開発する。

【所属名】[工業技術部](#)

【管理法人】財団法人科学技術交流財団

【共同開発者】伊藤光学工業株式会社、東海精密工業株式会社、名古屋工業大学

【テーマ3】住宅エクステリア用不焼成100%リサイクル保水不燃建材の開発

【概要】地球温暖化に伴うヒートアイランド化防止と法令改正に対応するバルコニーの不燃化対策を兼ね備えた住宅用軽量保水セラミック建材を研究開発する。100%リサイクル原料を使用し、不焼成により製造できる地球環境にやさしい技術の特徴を生かす。

【所属名】[常滑窯業技術センター](#)

【管理法人】財団法人中部科学技術センター

【共同開発者】株式会社神清、独立行政法人産業技術総合研究所

【テーマ4】粘土瓦再生循環システムの構築

【概要】住宅家屋の解体で回収した粘土瓦廃材を粉砕し、瓦の主原料に活用した粘土瓦再生循環システムを開発する。廃瓦のリサイクル率は50%以上で成形、乾燥技術の開発と廃瓦回収システムを構築する。

【所属名】[常滑窯業技術センター](#)

【管理法人】財団法人科学技術交流財団

【共同開発者】高浜工業株式会社、株式会社神清、積水ハウス株式会社、愛知工業大

学、豊橋技術科学大学

【テーマ5】機能性セラミックスを利用した液状食品の新規製造システムの開発

【概要】液状食品が直面している熱処理による品質低下や滓形成による商品価値の低下を本製造システムの構築により解決するとともに、低コストの高品質液状食品を開発する。さらに機能性の付与、低アレルギー等、特定用途食品の開発にも資する。

【所属名】[食品工業技術センター](#)

【管理法人】財団法人科学技術交流財団

【共同開発者】株式会社ポッカコーポレーション、盛田株式会社、相生ユニビオ株式会社

【テーマ6】安全快適空間創成のための次世代型クリーンナノ触媒の実用化開発

【概要】酸素活性化能と臭気吸着能を有するナノ材料を融合した金属フタロシアニン内包ゼオライトは暗所でも大気中で、顕著な脱臭、VOC等の無害化及び抗菌作用を示すことを発見した。本事業では、その量産技術開発と、衣料、居住空間基材や車の内装材への加工技術開発を行なう。

【所属名】[尾張繊維技術センター](#)

【管理法人】財団法人科学技術交流財団

【共同開発者】名古屋工業大学、株式会社シナネンゼオミック、寺田タカロン株式会社、株式会社ソトー、株式会社ダイキン